

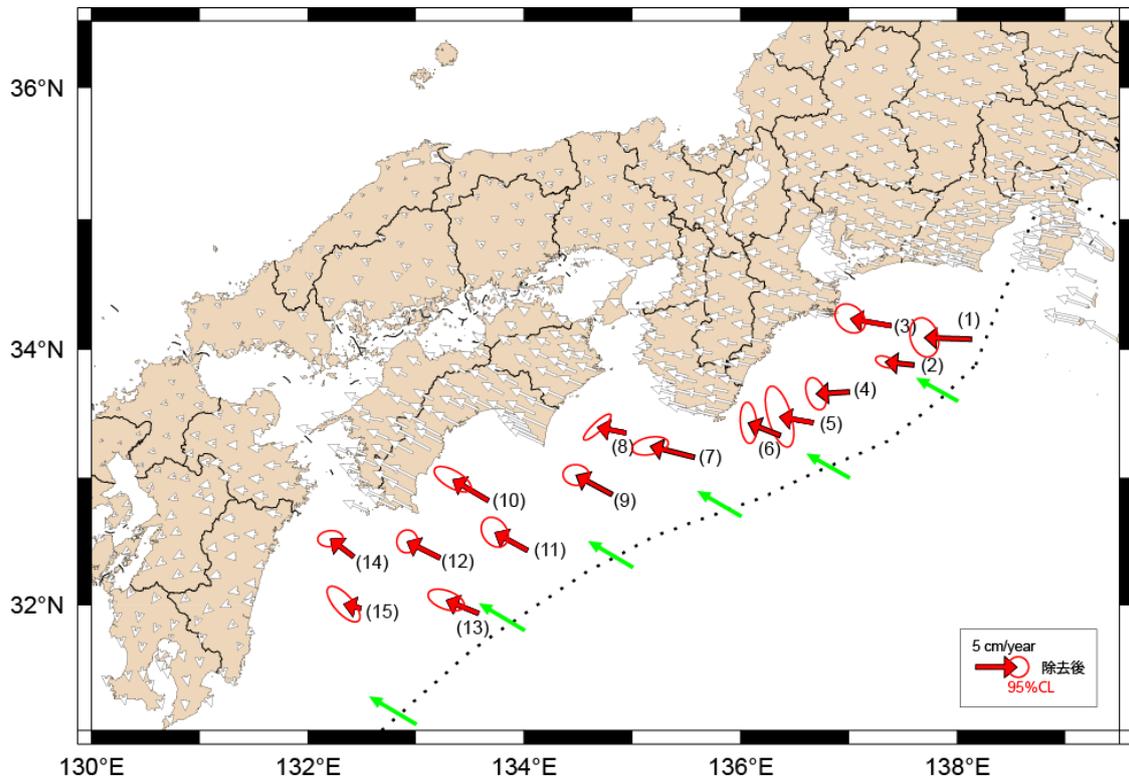
平成 27 年 8 月 21 日

海上保安庁

南海トラフ沿いの海底地殻変動観測結果

東北地方太平洋沖地震後の観測データのみから推定した結果

西南日本の年平均変位【アムールプレート固定】 (東北地方太平洋沖地震の影響を除去)



観測点	(1) TOK1	(2) TOK2	(3) TOK3	(4) KUM1	(5) KUM2	(6) KUM3	(7) SIOW
速度 (cm/year)	5.8	3.5	5.1	4.1	4.2	4.2	5.6
角度	N272.2°E	N276.3°E	N280.2°E	N266.9°E	N280.2°E	N291.8°E	N284.5°E

(8) MRT1	(9) MRT2	(10) TOS1	(11) TOS2	(12) ASZ1	(13) ASZ2	(14) HYG1	(15) HYG2
3.6	5.0	5.1	4.6	4.5	4.3	3.6	2.2
N281.6°E	N298.7°E	N301.0°E	N299.2°E	N296.8°E	N292.7°E	N308.1°E	N283.6°E

- 解析には国土地理院提供の電子基準点 1 秒データ及び F3 解を使用している。
- 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は、Sun et al.(2014, Nature) 及び Sun and Wang (2015, JGR) のモデルによる結果を用いて補正した。
- 陸上の移動速度は国土地理院 GEONET の 2006 年 3 月～2011 年 2 月（東北地方太平洋沖地震前）までの F3 解を線形回帰したものである。
- 緑色矢印は MORVEL モデルによるフィリピン海プレートのアムールプレートへの沈み込み速度である。